

(禁無断転載)

解答は、すべて解答用紙に記入して必ず提出してください。

令和 2 年度
検定「お伊勢さん」
問題用紙

上級【歴史・ものづくり編】

(午後 3 時開始 制限時間 90 分)

【注意事項】

1. 解答用紙への記入は、硬度 HB または B の黒鉛筆を使用してください。
2. 解答を訂正する場合は、あとの残らないように消しゴムできれいに消してください。
3. 解答欄には、各問題につき 1 つのみマークしてください。
4. 問題は全 100 問、配点は 1 問につき 1 点です。

(令和 3 年 2 月 7 日 施行)

伊勢商工会議所

1. 次の文章を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- (1) 全国でも類例のない羨道部石積横穴式木室の確認された古墳は次のうちどれですか。
(イ) 北山古墳 (ロ) 東山古墳 (ハ) 西山古墳 (ニ) 南山古墳
- (2) 平安時代の隠岡遺跡には何があったと考えられていますか。
(イ) 度会氏の居宅 (ロ) 荒木田氏の居宅
(ハ) 大中臣氏の居宅 (ニ) 隠岡氏の居宅
- (3) 鎌倉時代に、内宮と外宮の神主が論争し、「皇字沙汰文」という史料も残っている1件について、問題とされたことは何ですか。
(イ) 皇大神宮の「皇」の文字のこと。
(ロ) 豊受大神宮の「大」の文字のこと。
(ハ) 外宮が「皇」の文字を使ったこと。
(ニ) 内宮が「皇」の文字を使ったこと。
- (4) 福島御塩焼大夫の「御塩焼」の正しい読みはどれですか。
(イ) みさき (ロ) おんしおやき (ハ) みしおやき (ニ) おしおやき
- (5) 初午祭で著名な寺はどこですか。
(イ) 金剛證寺 (ロ) 松尾観音 (ハ) 大林寺 (ニ) 中山寺
- (6) 円空仏4体がある寺はどこですか。
(イ) 寂照寺 (ロ) 等観寺 (ハ) 金剛證寺 (ニ) 中山寺
- (7) 大正時代になると、市民の間にどのような意識が高まりましたか。
(イ) 遷宮 (ロ) おかげ参り (ハ) 神都 (ニ) 伝統
- (8) 源義経の家来である伊勢三郎義盛が居城を構えていたといわれるのはどこですか。
(イ) 大仏山 (ロ) 朝熊山 (ハ) 鷲嶺 (ニ) 音無山
- (9) 吉川英治『宮本武蔵』や、中里介山『大菩薩峠』などの小説で、剣豪の修行の地として出てくる場所は次のうちどれですか。
(イ) 鷲嶺 (ロ) 三郷山 (ハ) 音無山 (ニ) 朝熊山

- (10) 大宰府権帥に左遷された菅原道真は、日頃寵愛していた樹木を伊勢の地に奉納植樹し、えん罪の晴れるのを神宮に祈願したという。その時の樹木が後に繁茂して名木となったという伝説をもつ場所はどこですか。
(イ) 猿田彦神社 (ロ) 離宮院 (ハ) 音無山 (ニ) 臥龍梅公園
- (11) 離宮院は誰のための施設ですか。
(イ) 天皇 (ロ) 皇太子 (ハ) 皇后 (ニ) 斎王
- (12) 江戸時代の山田は合計何郷からなった地域ですか。
(イ) 6 郷 (ロ) 13 郷 (ハ) 12 郷 (ニ) 8 郷
- (13) 江戸時代の宇治地域は、楠部・中村などからなる下四郷と、五十鈴川の右岸・左岸のエリアからなる上二郷の合計 6 郷からなっていた。上二郷の組み合わせで正しいものはどれですか。
(イ) 須原・坂 (ロ) 岩井田・岡田
(ハ) 浦田・中之切 (ニ) 鹿海・朝熊
- (14) 「間の山」の由来として正しいものはどれですか。
(イ) 伊勢の山々のちょうど間に存在するから。
(ロ) 遊郭などが立ち並ぶ間にあるから。
(ハ) 伊勢参宮の合間に立ち寄る所だから。
(ニ) 内宮と外宮の中間地点に存在するから。
- (15) 津地方裁判所伊勢支部のあるところは、江戸時代、誰の邸宅でしたか。
(イ) 三日市大夫 (ロ) 春木大夫 (ハ) 上部大夫 (ニ) 橋村大夫
- (16) 江戸時代の御師で、茶人でもあった杉木普斎は誰の弟子でしたか。
(イ) 今井宗久 (ロ) 千宗旦 (ハ) 千利休 (ニ) 千道安
- (17) 古市の遊女らに篤く信仰されていた神社はどこですか。
(イ) 長峯神社 (ロ) 松下社 (ハ) 河辺七種神社 (ニ) 官舎神社
- (18) 「伊勢三座」は青苧座、和屋(和谷)座と、もう一つはどれですか。
(イ) 馬瀬座 (ロ) 一色座 (ハ) 勝田座 (ニ) 通座
- (19) 伊勢神楽は、湯立神楽もしくは何神楽と呼ばれていましたか。
(イ) 如月神楽 (ロ) 睦月神楽 (ハ) 水無月神楽 (ニ) 霜月神楽

2. 山田奉行について書かれた次の文章の()に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

江戸幕府は、初期の頃は伊勢国に代官を派遣し、代官は四日市に駐在して神宮に係する事柄も処理しており、山田の町内に役所を置いて下僚を派遣していた。役所は何度か移転するが、寛永8年(1631)に山田奉行に就任した(20)の代から(21)の地に駐在するようになり、職務内容もほぼ整えられた。

山田奉行は、江戸中期には千石高(千石の知行地を支給されている旗本が就任する格式の職)で、就任者には年間1500俵の役料が支給された。

奉行は元禄9年(1696)から享保11年(1726)の間は2人任命されていたが、それ以外の期間は1人体制であった。

山田奉行で著名な人物としては、大岡忠相がいる。大岡は正徳2年(1712)に目付より山田奉行に任命され、享保元年(1716)に(22)に転じるまで伊勢の町の政務にあたった。享保2年に(23)に抜擢されると、将軍徳川吉宗の改革政治を補佐した。

幕末に至ると、神宮警衛の重大さなどから神戸藩の藩主であった本多忠貫が大名としては初めて奉行に任命されている。明治維新を迎え、明治元年(1868)に度会府が設置されると、山田奉行は廃止された。

残念ながら山田奉行所の当時の建物は現存しないが、御園町(24)にある山田奉行所記念館は、弘化2年(1845)に火災でほぼ全焼した奉行所が翌年再建された際の図面「新造小林役所之図」をもとに、書院など奉行所の一部を復元している。

- | | | | |
|---------------|----------|-----------|----------|
| (20)(イ) 花房幸次 | (ロ) 水谷光勝 | (ハ) 日向正成 | (ニ) 長野友秀 |
| (21)(イ) 岡本 | (ロ) 有滝 | (ハ) 大世古 | (ニ) 小林 |
| (22)(イ) 長崎奉行 | (ロ) 日光奉行 | (ハ) 江戸町奉行 | (ニ) 普請奉行 |
| (23)(イ) 江戸町奉行 | (ロ) 側用人 | (ハ) 寺社奉行 | (ニ) 若年寄 |
| (24)(イ) 上條 | (ロ) 小林 | (ハ) 高向 | (ニ) 長屋 |

3. 五二会について書かれた次の文章の()に入る適語を選び、記号で答えなさい。
また、設問に対して、正しい答えを選び、記号で答えなさい。

明治 31 年 (1898)、(25)虎尾山に建てられた五二会館は、眺望にめぐまれた集会所兼賓客用ホテルである。併設された商品陳列所では、製造品の品評会や委託販売などが行われていた。五二会とは、織物・陶器・銅器・漆器・製紙の 5 品に、(26)の 2 品を加えた、伝統的な輸出工芸品 7 業者の団体で、全国各地の特産物を一同に会し、品評会を行うことによって、それらの高品質化や生産強化を図ろうとしたものである。会は明治 27 年 (1894) に設立され、明治中後期に全国の地方産業の振興と組織化に尽力していた(27)が会長となっていた。

五二会山田支部は、明治 30 年に発会。同 32 年の商品陳列所は盛況で、同年には第 6 回五二会全国大会が開催された。宿泊施設は五二会ホテルとも称され、著名人も多数宿泊したが、昭和 35 年 (1960) に解体された。

- (25) (イ) 妙見町 (ロ) 倭町 (ハ) 尾上町 (ニ) 岡本町
- (26) (イ) 彫刻・敷物 (ロ) 染織・宝飾品
(ハ) 竹細工・皮革品 (ニ) 楽器・人形
- (27) (イ) 浦田長民 (ロ) 北川矩一 (ハ) 前田正名 (ニ) 尾崎行正
- (28) 五二会ホテルに宿泊したことがある人物を、下記から選びなさい。
(イ) 伊藤博文 (ロ) 樋口一葉 (ハ) 北里柴三郎 (ニ) 江戸川乱歩

4. 次の語群のつながりで、誤っているもの・関係のないものを 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (29) (イ) 高倉山古墳—豊川町 (ロ) カリコ遺跡—大仏山
(ハ) 昼河古墳群—世界祝祭博 (ニ) 南山古墳—伊勢志摩スカイライン
- (30) (イ) 徳川家康—梅香寺 (ロ) 尾崎行雄—浜田国松
(ハ) 橋本平八—倭姫命 (ニ) 北園克衛—橋本健吉
- (31) (イ) 世木神社—足神 (ロ) 坂社—御頭神事
(ハ) 上社—牛頭さん (ニ) 祖霊社—西南の役
- (32) (イ) 寿巖院—身代わり地蔵 (ロ) 養草寺—越坂
(ハ) 正覚寺—かんこ踊り (ニ) 海眼院—日蓮上人

5. 次の文章で誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- (33) (イ) 南山古墳の横穴式木室は火を受けていない。
(ロ) エリザベス女王は神宮に来られた。
(ハ) 荒木田久老は平田篤胤の門人である。
(ニ) お蔭参りは抜け参りから始まった。
- (34) (イ) 古市の遊郭は天明年間に70軒ほどあった。
(ロ) 御師の邸宅は宇治橋周辺には無かった。
(ハ) 農業館はもともと外宮前にあった。
(ニ) 山口誓子は『伊勢詣』などの紀行文を著した。
- (35) (イ) 御幸道路の明治期の植樹は楓・桜・楠である。
(ロ) 御師の檀家廻りはすべて主人が行った。
(ハ) 御師邸の神楽殿は宇治のほうが少ない。
(ニ) 小田橋は二重の橋であった。
- (36) (イ) 二見興玉神社は江戸時代にできた。
(ロ) 倭姫宮は大正時代に創建された。
(ハ) 伊勢市内で銅鐸が出土している。
(ニ) 伊勢市内には象がいたころの遺跡がある。
- (37) (イ) 東大寺再興に尽力した僧重源は、伊勢で両宮参拝を果たした。
(ロ) 室町時代の内宮長官荒木田氏経は、祭式・旧例等の伝統復興に尽くした。
(ハ) 荒木田守武は後期伊勢神道を大成した。
(ニ) 出口延佳は『大神宮神道或問』などの著作がある。

6. 次の説明文にあてはまる人物名を選び、記号で答えなさい。

(38) 「願はくは 花の下にて 春死なむ その如月の 望月のころ」などの和歌で知られ、一時期二見の安養山に庵を結び、神宮の神職とも歌交を深めた。

(イ) 重源 (ロ) 西行 (ハ) 俊恵 (ニ) 能因

(39) 内宮権祢宜で、松坂の本居春庭に入門し、諸国の国学者とも広く交流した。著書に『中臣祓詞浅瀬之水』『真菅集』『万葉本歌取集櫛のしづ枝』などがある。

(イ) 岩井田尚友 (ロ) 出口延佳 (ハ) 荒木田久守 (ニ) 足代弘訓

(40) 山田の盆踊りを参考に、現在の伊勢音頭の源流の1つでもある「河崎音頭」を改作して流行させた。絲印煎餅で有名な播田屋には、彼の指導で作られたとされる「きさらぎ」という菓子がある。

(イ) 中川乙由 (ロ) 志毛井及時 (ハ) 奥山桃雲 (ニ) 松田雪柯

(41) 宇治で権祢宜の家に生まれ、20歳で宇治年寄に、32歳で神宮少宮司となる。明治維新後、神宮の祭典の軌範となる『神宮明治祭式』を著し、また度会郡長も勤めるなど多岐に亘り功績を残した。

(イ) 太田小三郎 (ロ) 浦田長民 (ハ) 幸田光隆 (ニ) 澤瀉久孝

(42) 米穀取引所、山田銀行、参宮鉄道等の創立に関係して市の産業・地域開発に貢献した。宇治山田市の初代市長を務め、この間に宇治山田実業会の初代会長にも就任した。

(イ) 御木本幸吉 (ロ) 井村斎六 (ハ) 梶谷松吉 (ニ) 北川矩一

(43) 宇治山田商工会議所の会頭や、戦後は市長も務め、市の発展に尽力した。神都博覧会から参宮博覧会まで、伊勢で開催された昭和の全ての博覧会に関わり、「博覧会男」と呼ばれた。

(イ) 北岡善之助 (ロ) 阿竹斎次郎 (ハ) 慶谷隆夫 (ニ) 小林豊太郎

(44) 宇治山田中学(現宇治山田高校)卒業後、飯南郡で代用教員を勤めた後、父親の暮らす東京へ移り、松竹蒲田撮影所に入所して映画監督となった。代表作は「秋刀魚の味」「東京物語」。

(イ) 衣笠貞之助 (ロ) 小津安二郎 (ハ) 市川崑 (ニ) 成瀬巳喜男

(45) 犬養毅の下で第二次護憲運動に参加し、昭和期には政友会に所属。昭和 12 年の衆議院本会議での軍部批判演説で、寺内寿一陸軍大臣と応酬した「腹切り問答」によって広田弘毅内閣は総辞職した。

(イ) 濱地文平 (ロ) 尾崎行雄 (ハ) 岸本康通 (ニ) 浜田国松

(46) 宇治山田市の開業医師で、野口英世とは同窓でもあり親交があった。一方で伊勢音頭再興の運動にも尽力し、『伊勢音頭の由来及び消長』などの著作もある。

(イ) 畑嘉門 (ロ) 寺田縫之助 (ハ) 亀谷環 (ニ) 山崎典寿

(47) 宇治山田市に生まれ、日本女子大学を卒業し、東京大学で聴講生として美学を修得した後、アララギ派の歌人であった今井邦子に師事する。故郷伊勢の風物を詠んだ『山花集』や『白い風の中で』などの作品がある。

(イ) 荒木田麗 (ロ) 梅村敏子 (ハ) 生方たつゑ (ニ) 山中智恵子

7. 設問のような事象を調べる際、最も有用と思われる本を選択肢より選び、記号で答えなさい。

(48) 市内に残る歌碑の場所や写真、解説などを読みたい。

(イ) 『大神宮史要』
(ロ) 『伊勢の文学と歴史の散歩』
(ハ) 『街道の日本史 30 東海道と伊勢湾』
(ニ) 『道者と地下人』

(49) 宇治山田市の歴代市長と、歴代市会議長を調べたい。

(イ) 『三重県史』
(ロ) 『二見町史』
(ハ) 『伊勢—まちのなりたち・まちづくり』
(ニ) 『宇治山田市史』

(50) 山田奉行所の下僚の職掌や俸給、同心の名前などを調べたい。

(イ) 『御園村史』
(ロ) 『伊勢市史』
(ハ) 『宇治山田市史』
(ニ) 『三重県史』

8. 次の項目に関係する正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

(51) 小町塚経塚

(イ) 常磐町 (ロ) 一之木町 (ハ) 岡本町 (ニ) 浦口町

(52) 官舎神社

(イ) 今在家町 (ロ) 小俣町 (ハ) 桜木町 (ニ) 御藺町

(53) 丸岡宗大夫邸

(イ) 宮後町 (ロ) 大世古町 (ハ) 宮町 (ニ) 八日市場町

(54) 山口誓子俳句館

(イ) 宇治中之切町 (ロ) 宇治浦田町 (ハ) 川端町 (ニ) 中之町

(55) 孫右衛門堤

(イ) 大湊 (ロ) 五十鈴川 (ハ) 宮川 (ニ) 二見浦

(56) 長泉寺

(イ) 古市町 (ロ) 辻久留町 (ハ) 円座町 (ニ) 佐八町

(57) 澤村栄治生家跡碑

(イ) 岩渕 (ロ) 岡本 (ハ) 吹上 (ニ) 本町

(58) 山田三方会合所跡碑

(イ) 大世古 (ロ) 辻久留 (ハ) 一之木 (ニ) 曾祢

(59) 度会府庁跡碑

(イ) 宇治山田駅 (ロ) 五十鈴川駅 (ハ) 伊勢市駅 (ニ) 五十鈴ヶ丘駅

(60) 足代弘訓墳墓地

(イ) 宮後 (ロ) 常磐 (ハ) 川端 (ニ) 大世古

9. 次の文章を読み、()に入る適切な語句を選び、または設問に記号で答えなさい。

その昔、スサノオノミコトは成年になり、妻となる女性を探して旅に出られた。長い旅を続けて伊勢の地に着いたとき、日は暮れてあたりは暗く、一夜の宿を探して歩いた。そこで、このあたりで一番の金持ちであった巨旦将来の家を訪ねると「うちは貧しいから泊められない」とすげなく断られた。スサノオは困ってあてもなく歩いていくと、蘇民将来の家があった。スサノオが宿を乞うと、貧しいながらも心優しい蘇民将来は「汚れた家ですが、どうぞ」と言って招き入れ、粟のごはんを炊いてもてなした。

スサノオは、出発する前にお礼として宝の珠を蘇民に渡した。この珠は心優しい人が持つと長者になるというありがたい珠だった。

ある年のこと、スサノオは再び蘇民の家に立ち寄った。蘇民は長者になっており、それをうらやましく思っていた巨旦は、今度はスサノオを自分の家に泊めようとしたが、心がけが悪かったため次々悪いことが起こり、挙げ句の果てに亡くなってしまった。

スサノオは蘇民将来の家の人達に「疫病などが流行ったら、蘇民将来の子孫だと言って、(61)を腰につければ、疫病にかかることはない」と言い残して立ち去った。蘇民の子孫はそのことを守り、いつまでも幸せに暮らしたという。それから、この地方では、注連縄に「蘇民将来子孫家門」と書いた木札をつけるようになったといわれている。

(61) 本文中(61)に入る言葉を次の中から選びなさい。

(イ) カヤ (ロ) 紙垂 (ハ) お守り (ニ) 茅の輪

(62) この話のスサノオは、別の民話では次の誰にあたりますか。

(イ) 牛頭天王 (ロ) 天照大神 (ハ) ヤマトタケル (ニ) ニニギノ尊

(63) この逸話が記された、二見町の蘇民を祭った社である松下社に残る文書は何という名前ですか。

(イ) 備後国風土記 (ロ) 牛頭天王儀軌之事
(ハ) 朝熊嶽儀軌 (ニ) 播磨国風土記

10. 伊勢の民話に関する次の設問について、最も適切なものを選んで、記号で答えなさい。

(64) 一之木町の常明寺に建つ句碑「秋の風いせの墓はらなほ凄し」は、牛谷坂の牛鬼伝説にちなんだものといわれていますが、この句の作者は誰ですか。

(イ) 荒木田守武 (ロ) 松尾芭蕉 (ハ) 山口誓子 (ニ) 岩田涼菟

(65) 鼓ヶ岳の名前の由来はいくつかありますが、間違っているのはどれですか。

(イ) 遠くから見た姿が鼓の形に似ているから。

(ロ) 西行法師の鼓ヶ岳伝説から。

(ハ) 獵師に命乞いした狸が打った腹鼓の伝説から。

(ニ) この山にお堂があり両端が五十鈴川と宮川。つまり胴が皮と皮にはさまれているから。

11. 伊勢の風習に関する次の設問について、最も適切なものを選んで、記号で答えなさい。

(66) 大人も子どもも皆が少額ずつ出し合って、田楽や萩の餅などを買って食べる風習「猫も三文」はいつですか。

(イ) 3月20日 (ロ) 8月21日 (ハ) 9月15日 (ニ) 11月8日

(67) 注連縄の木札に書くこともある道の神様の名前「八衢比売神」の正しい読みはどれですか。

(イ) ヤチマタヒコノカミ (ロ) ヤオヨロズノカミ

(ハ) ヤチマタヒメノカミ (ニ) ヤチマタヒウリノカミ

12. 市内を流れる川には別名のあるものが多く、由来がわかるものもあります。下記の設問に書かれた別名は、それぞれどの川をさすものか、記号で答えなさい。

(68) 昔、倭姫命が御裳の裾を濯ぎ給うたことから御裳濯(みもすそ)川という。

(イ) 宮川 (ロ) 五十鈴川 (ハ) 勢田川 (ニ) 汁谷川

(69) 伊勢神宮に献上する魚を獲ったので御贄(おんべ)川といった。

(イ) 五十鈴川 (ロ) 勢田川 (ハ) 汁谷川 (ニ) 外城田川

(70) 離宮院に沿って流れているので、離宮川といった。

(イ) 汁谷川 (ロ) 外城田川 (ハ) 宮川 (ニ) 五十鈴川

13. 外宮前界限に関する下記の説明文の中に、間違っただけものが1つずつあります。それを選んで、記号で答えなさい。

- (71) (イ) 山田は外宮の鳥居前町として発達した。
(ロ) 明治30年、参宮鉄道が開通すると、江戸時代からあった神宮参道は駅と外宮を結ぶ街路となり、旅館や土産物店が並ぶようになった。
(ハ) これらの旅館のうち、木造3階建てで現在唯一残っているのは山田館で、唐破風のある玄関や、3つの千鳥破風を持つ入母屋屋根などに華やかな時代が懐古される。
(ニ) 外宮前広場は、神苑会が豊川以北の民家を買収、撤去して作られた。
- (72) (イ) 明治34年の県令「神宮宮域及神苑地附近屋舎制限」により、外宮の周辺には30尺を超える建物は建てられなくなった。
(ロ) 勾玉池は、神苑会により作られた人工池で、花菖蒲をはじめとする様々な植物が群生し、市民の憩いの場となっている。
(ハ) 内宮と外宮を結ぶ御幸道路は、別名御成街道と呼ばれ、明治43年に開通した。
(ニ) 外宮北御門と月夜見宮をつなぐ通りは、月夜見の神が、白馬で外宮に通われる道という伝説があり、「月夜見の道」と呼ばれている。

14. 大湊の造船業がいつから発達したのかは明らかではないものの、周辺資料などから、鎌倉時代には存在したことが十分推測されます。木造船時代、大湊は全国有数の造船業地でした。この大湊の造船業史に関する次の説明の中に、間違っただけ文が1つずつあるので、それを選んで記号で答えなさい。

- (73) 室町期、安土桃山期
(イ) 大湊の造船業は、大湊が神宮の外港として廻船の拠点であったこと、朝熊山や宮川の上流に巨木を得られたことで発達した。
(ロ) 延元3年(1338)北畠顕信らが、この地で100艘余の船を調えたと伝えられている。
(ハ) 織田信長は石山本願寺との戦いに際して、鳥羽城主九鬼嘉隆に命じてこの地で6艘の安宅船を建造した。
(ニ) 室町期から江戸前期にこの地で建造された船は、構造上「伊勢船」と呼ばれた。

(74) 江戸後期、明治初期

- (イ) 近代になって、大湊の造船業を担った市川・内田・強力・松崎・吉川の各造船所は、いずれも江戸期の創業である。
- (ロ) 造船業と船釘鍛冶は切っても切れない関係にあり、最盛期には、船釘、家釘鍛冶は 200 を超えたといわれる。
- (ハ) この時期、大湊では、内海船、白子廻船など伊勢湾一帯の廻船業の造船基地として、弁才船(千石船)を建造した。
- (ニ) 大湊の明治 5 年(1872)の職業別戸数を見ると、総戸数 463 のうち、鍛冶 111、船大工 100 となっており、造船業地であったことが明らかである。

15. 河崎と二軒茶屋に関する下記の説明の中に、間違った文がそれぞれ 1 つずつあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(75) 河崎

- (イ) 河崎は古くから伊勢の台所といわれ、江戸期から戦後(太平洋戦争)までは、米問屋・魚問屋・酒問屋などが集中した。
- (ロ) 物流の中心が、水運から自動車交通に変わり、魚市場や酒問屋などが河崎を離れていき、河崎は衰退した。
- (ハ) 隆盛時の様子は、いまに残る蔵や、問屋の建物にその姿を留めている。
- (ニ) 昭和 49 年の七夕水害をきっかけに勢田川の改修が行われるが、それと平行して町並み保存運動がはじまり、そのシンボルとして老舗の米問屋の店と蔵を活用した「河崎商人館」ができた。

16. 次の言葉はこの地域で使われてきたものですが、私たちの生活のどのような状態を示す言葉でしょうか。下記の分類の中から、それぞれ妥当と思われるものを選んで、記号で答えなさい。

- 分類：(イ)食品の状態を示す (ロ)時間の経過を示す
(ハ)数量・計量の状態を示す (ニ)人間の動作を示す

(76) ようけ (ハ)

(77) こわしない (イ)

(78) おわえる (ニ)

17. 伊勢市に遺されている下記の有名な近代建築物が建てられたのはいつですか。
その年次を下記の年から選んで記号で答えなさい。なお、建築物が移築されたり、
修繕されたりしている場合には、元々の建築年で答えなさい。

(79) 神宮徴古館

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (イ) 明治 20 年(1887) | (ロ) 明治 24 年(1891) |
| (ハ) 明治 42 年(1909) | (ニ) 大正 12 年(1923) |

(80) 賓日館

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (イ) 明治 20 年(1887) | (ロ) 明治 24 年(1891) |
| (ハ) 明治 42 年(1909) | (ニ) 大正 12 年(1923) |

(81) 近鉄宇治山田駅

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (イ) 明治 42 年(1909) | (ロ) 大正 12 年(1923) |
| (ハ) 昭和 6 年(1931) | (ニ) 昭和 28 年(1953) |

(82) 神宮農業館

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (イ) 明治 24 年(1891) | (ロ) 明治 42 年(1909) |
| (ハ) 大正 12 年(1923) | (ニ) 昭和 8 年(1933) |

(83) 神宮美術館

- | | |
|------------------|-------------------|
| (イ) 明治 6 年(1873) | (ロ) 昭和 58 年(1983) |
| (ハ) 平成元年(1989) | (ニ) 平成 5 年(1993) |

- (84) 上記の設問に関連して、次の建物のうち、国の重要文化財に指定されているものはどれですか。

- (イ) 神宮徴古館 (ロ) 祭主職舎 (ハ) 宇治山田駅 (ニ) 麻吉旅館

18. この地域の道路に関する次の説明に 1 つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(85) 御木本道路

- (イ) 昭和 10 年代に、外宮と内宮を結ぶ第 2 の道路として、いわゆる神都計画の中で計画された。
- (ロ) 昭和 14 年の街路の都市計画決定においては、人と自転車専用の公園道路として計画されている。
- (ハ) 昭和 21 年御木本幸吉が米寿の祝いとして 50 万円の資金を提供したので、これを基金として事業が進められた。
- (ニ) 延長 3.5km、中間点に伊勢自動車道乗降口が設置された。

(86) 伊勢道路

- (イ) 宇治館町と志摩市磯部町川辺とを結ぶ 15.2km の道路である。
- (ロ) 逢坂越えと呼ばれたこのルートは、古くから志摩の物産を伊勢へ運ぶ際に利用された。
- (ハ) 五十鈴トンネルと志摩路トンネルを掘削して、昭和 40 年に開通し、当初は有料であったが、平成 5 年ご遷宮の年に無料になった。
- (ニ) 島路川の溪谷に沿うため、春秋は樹木が美しい観光道路である。

19. 伊勢の名物菓子には、その名前や形などに、伊勢の土地柄にちなんだ由来を持つものがあります。次の菓子の由来を選択肢から選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

- (イ) 大神宮献茶会
- (ロ) 剣祓のお札
- (ハ) 参宮街道の宮川の渡し
- (ニ) 勢田川の船着き場

(87) 生姜糖 (ロ)

(88) 利休饅頭 (イ)

(89) 二軒茶屋餅 (ニ)

20. 伝統工芸に関する次の文章を読み、()に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

この地域で行われている伝統産業には、明治4年7月の(90)制度の廃止をうけて、その手代や関係者が衣食の途を求めて始めたものも多い。例えば、(91)は、明治のはじめ信州から来た技術者に、久田長七が習い、榼・椿などで木杯・腰下げ・(92)などを制作し、参宮道者にみやげとして販売したのが最初と伝えられるが、その技術を学んで糊口をしのいだわけである。

その中から(93)という名人が出て、根付のすばらしい作品を生み出したので、関係者の技術がレベルアップされていき、伝統産業としての位置づけを確立することになった。また、この流れから派生して、近年では新年の縁起物としても喜ばれる一刀彫りでは、(94)が大きな業績を残した。

その後、鉄道の開通など、参宮客の荷物の携帯が容易になると、(91)のほかにいろいろな玩具が作られるようになり、働く人も増えて、産業としての体裁を整えていった。ちなみに、弓獅子は、おがくずを糊で練り固めるというその制作方法から(95)に分類されている。

- | | | | |
|--------------|----------|----------|----------|
| (90)(イ) 土農工商 | (ロ) 伝馬 | (ハ) 御師 | (ニ) 土地 |
| (91)(イ) 一刀彫り | (ロ) 刳物 | (ハ) 根付 | (ニ) 春慶塗り |
| (92)(イ) 膳 | (ロ) 重箱 | (ハ) 独楽 | (ニ) 履き物 |
| (93)(イ) 橋本平八 | (ロ) 板倉白龍 | (ハ) 中村左州 | (ニ) 鈴木正直 |
| (94)(イ) 中村良記 | (ロ) 板倉白龍 | (ハ) 今村瑞甫 | (ニ) 中村左州 |
| (95)(イ) 刳物 | (ロ) 練物 | (ハ) 陶芸 | (ニ) 固物 |

21. 市内の桜に関する次の文章を読み、()にあてはまる適語を選び、記号で答えなさい。

市内の桜の名所といえば、まず宮川堤公園の右岸一帯が想起される。県の(96)で、「さくらの名所百選」にも選ばれた。現在の宮川橋近くにあった渡し舟の着く所に風致を添え、また堤防を強くする目的もあってソメイヨシノなどの桜を植えていたものが、だんだん東の堤上に増殖され「桜の渡し」と呼ばれるようになったといわれる。

また、小俣町の離宮院跡で2～3月の寒い時期に咲く(97)も美しい。花が釣り鐘状で下を向いており、独特の色をしている。

横輪町の地域の桜として大切にされている横輪桜は、成木(10年以上)になると、(98)が進化した花びらが3、4枚、多いものでは10枚以上も発生する、とても華やかで見事な桜である。

外宮に隣接する豊宮崎文庫の跡地に植えられている(99)は、ヤマザクラの変種で、(100)である。豊宮崎文庫創設のとき、その主唱者の1人である出口延佳の家の屋根に生えた桜であるとか、外宮古殿の屋根に生えた桜であるとか、その伝来には諸説ある。

- (96) (イ) 指定文化財 (ロ) 指定名勝地
(ハ) 重要文化財 (ニ) 指定天然記念物

- (97) (イ) 寒緋桜 (ロ) 寒紅桜 (ハ) 寒桃桜 (ニ) 寒山桜

- (98) (イ) めしべ (ロ) がく (ハ) 葉 (ニ) おしべ

- (99) (イ) オヤマザクラ (ロ) オヤネザクラ
(ハ) ヤシロザクラ (ニ) オオザクラ

- (100) (イ) 市指定天然記念物 (ロ) 県指定天然記念物
(ハ) 市指定重要文化財 (ニ) 県指定重要文化財